

株主の皆さまへ

## 第144期中間報告書

2012年4月1日～2012年9月30日

### 特集

## 無人ダンプトラック運行システム(AHS) の導入拡大 ..... 3

ごあいさつ	.....	1
部門別の概況	.....	2
トピックス	.....	4
連結業績	.....	5
会社情報	.....	6



オーストリアで稼働するハイブリッド油圧ショベル「HB215LC」



第144期の中間報告書をお届けするにあたり、株主の皆さまにごあいさつ申し上げます。

当中間期（2012年4月1日から2012年9月30日）は、建設機械・車両部門では、一般建設機械分野において日本、北米の需要は堅調に推移しましたが、中国の需要はほぼ半減しました。一方、鉱山機械分野では、石炭価格の下落により石炭鉱山向けの需要が減速しましたが、石炭以外の鉱山向けの需要は堅調に推移しました。産業機械他部門については、自動車業界向けの大型プレスや工作機械の需要は堅調に推移しましたが、太陽電池市場向けのシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの需要が大幅に減少しました。これらの結果、連結売上高は前年同期を下回りました。

利益につきましては、販売価格および製造原価の改善等に継続的に注力しましたが、売上げ数量の減少に加え、為替がユーロに対し円高となった影響もあり、前年同期を下回りました。

当期（2013年3月期）は中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」の最終年度にあたります。4つの重点活動項目である、①製品・部品のICT(情報通信技術)化の推進、②環境対応・安全性向上の商品開発、③「戦略市場」での販売・サービス体制拡充、④現場力の強化による継続的改善の推進に引き続き取り組むとともに、今後の成長戦略に向けての課題を明確にし、次期中期経営計画に繋げていきます。

また、引き続き全世界の社員が業務の改善活動を通じて「コマツウェイ」の定着・深化を図るとともに、お客さまとの

## 連結決算

<米国会計基準>

2012年9月30日に終了した6カ月間

売上高	9,308 億円 (前年同期比 5.6%減)
営業利益	1,112 億円 (前年同期比 16.3%減)
売上高営業利益率	12.0 % (前年同期比 1.5ポイント減)
税引前純利益	1,053 億円 (前年同期比 19.1%減)
純利益*	661 億円 (前年同期比 30.2%減)

\*米国会計基準における「当社株主に帰属する四半期純利益」

### ◀ コマツ取締役会メンバー

(後列左から) 藤塚 主夫、大橋 徹二、堀田 健介、  
狩野 紀昭、池田 弘一、高村 藤寿  
(前列左から) 駒村 義範、坂根 正弘、野路 國夫、広中 守

関係性を一層高め、コマツとお客さまがともに発展するための「ブランドマネジメント」活動に注力していきます。

コマツグループは、「企業価値とは、社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和である」との考えにより、コーポレート・ガバナンスを更に強化し、健全で透明性の高い経営に努めるとともに、経営効率の向上を目指しています。コンプライアンスを徹底するとともに、コマツグループの全社員が「コマツウェイ」を共有し、業績の向上に加え、企業体質の更なる改善および社会的使命の達成をバランスよく実現させていきます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2012年11月

坂根 正弘

取締役会長  
坂根 正弘

野路 國夫

代表取締役社長(兼)CEO  
野路 國夫

1株当たりの中間配当金 2012年度 [第144期]: 24円  
(2011年度 [第143期]: 21円)

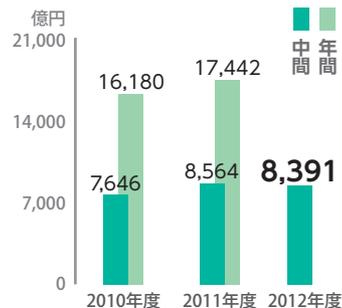
### <コマツの配当方針>

- 連結業績を反映した利益還元を実施し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく。
- 連結配当性向を20%以上とし、連結配当性向が40%を超えないかぎり、減配はしない。

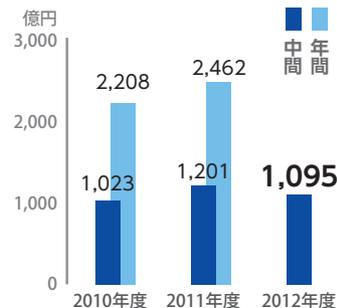
# 部門別の概況

## 建設機械・車両部門

売上高 (セグメント間取引消去前ベース)



セグメント利益



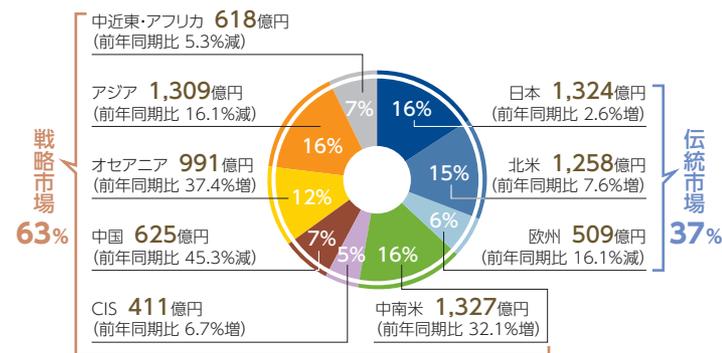
一般建設機械分野では、日本で東日本大震災からの復旧・復興工事に使われる建設機械の販売がレンタル向けを中心に伸長しました。北米では、住宅建設向けの需要回復に加え、レンタル向け等の販売が好調に推移しました。一方、中国では、政府による金融緩和政策が実施されたものの、依然として新規プロジェクトの着工に目立った動きはなく、売上はほぼ半減しました。

鉱山機械分野では、石炭価格の下落の影響を受け、インドネシアを中心に販売は減速しましたが、石炭以外の鉱山向けの本体、部品・サービスの販売は堅調であったことから、売上は増加しました。

地域別の売上では、鉱山機械分野の販売が堅調に推移した中南米およびオセアニアの売上げが、上期として過去最高の水準となりました。

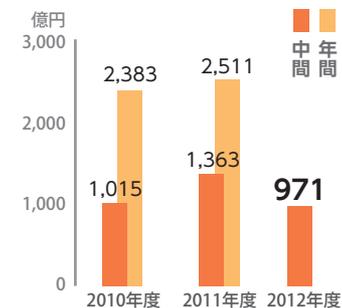
これらの結果、建設機械・車両部門の売上高は8,391億円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は1,095億円(前年同期比8.8%減)となりました。

地域別売上構成比 (外部顧客向け売上高: 2012年9月30日に終了した6カ月間)



## 産業機械他部門

売上高 (セグメント間取引消去前ベース)



セグメント利益



産業機械他部門は、自動車業界向けの大型プレスやエンジン製造向けの工作機械の販売が増加したものの、太陽電池市場向けのシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの販売が大幅に減少しました。また、東日本大震災の被災地における仮設ハウスの需要も一巡し、売上高は971億円(前年同期比28.7%減)、セグメント利益は33億円(前年同期比78.2%減)となりました。

# 無人ダンプトラック運行システム(AHS)の導入拡大

[AHS: Autonomous Haulage System]

— 2015年までに150台以上の導入を目指すプロジェクトがスタート —

2008年、コマツが世界で初めて実用化した超大型ダンプトラック「930E」をベースとした無人ダンプトラック運行システム(AHS)は、高精度GPSや無線ネットワークシステム等のICT(情報通信技術)を活用し、無人稼働のダンプトラック、有人稼働の積込・補助機(油圧ショベル、ブルドーザー等)の運行管理・制御を包括的に行う革新的なシステムです。鉱山全体の最適なオペレーションを実現し、安全性、生産性の向上に大きく貢献します。

コマツの長年のお客さまであるリオティント社は、「マイン・オブ・ザ・フューチャー(未来の鉱山)」構想を掲げ、その中には各鉱山の無人ダンプトラック全体を遠隔管理する壮大な計画も含まれています。AHSはこの構想を実現する上で重要な役割を担っています。



▲リオティント社ヤンディークージナ鉄鉱山で無人稼働する超大型ダンプトラック「930E-AT」

## 2008年～ 3年間の試験運行での成果

2008年、リオティント社は、オーストラリア北西部ピルバラ地区のウェスト・アンジェラス鉄鉱山に無人稼働の超大型ダンプトラック「930E-AT」5台を導入しました。3年間の試験運行では、無災害で稼働を続け、平均稼働率90%以上という実績を上げました。

## 2012年～ 150台以上の導入を目指して稼働開始

2011年11月1日、両社はオーストラリア北西部のピルバラ地区にある複数の鉄鉱山において、**2015年までに150台以上の無人ダンプトラックの導入を目指す**覚書を締結しました。

2012年4月には、ウェスト・アンジェラス鉄鉱山での試験運行で稼働していた5台と新規購入分5台の計10台を同地区のヤンディークージナ鉄鉱山に導入し、安定的に稼働を続けています。

今後の導入拡大に向けて、引き続き運行管理・サポート体制の強化を図っていきます。



▲「930E-AT」への積込みを行う超大型油圧ショベル「PC5500」(積込機にも高精度GPSが搭載され、バケットの位置を計算してダンプトラックを積込み位置へ誘導する。)



### AHS: お客さまのメリット

- ① **安全性:** トラックオペレーター関連事故(居眠り・不注意・未熟運転)の撲滅
- ② **経済性:** トラックオペレーター人件費および付帯する鉱山運営費用の低減
- ③ **生産性:** 計画的・安定的・長時間の稼働が可能
- ④ **環境性:** 燃費向上によるCO<sub>2</sub>排出量低減およびタイヤ寿命向上

▲無人ダンプトラックの運行管理・制御を行う中央管制室(ヤンディークージナ鉄鉱山)



KCテクノセンタでの建設機械のデモ

## コマツ中国 (KC) テクノセンタ来訪者1万人を突破

2012年6月、KCテクノセンタ(中国・常州市)の来訪者が1万人を突破しました。2011年1月に開設したKCテクノセンタは、約22万平米の敷地に、デモセンタ、総合研修センタ、循環センタ(中古車、リマン事業)の3つの機能を持ち、主にお客さまや販売代理店を対象に、建設機械の見学や試乗、運転技能・メンテナンス教育等を行っています。今後もより多くのお客さまに来訪いただき、コマツの商品に対する理解を深めていただくとともに、代理店等の人材育成を通じて、中国でのサポート体制の充実を図っていきます。

## オフロード法2011年基準に適合した次世代建設機械の国内市場導入を開始

コマツは、オフロード法\*1 2011年基準に適合した次世代の建設機械を、7月より国内で順次販売開始しました。新機種は、日本・北米・欧州の排出ガス規制\*2をクリアした新世代エンジンを新たに搭載するとともに、最新技術を随所に織り込むことにより生産性と燃費性能を高い水準で両立させ、当社従来機と比べ燃料消費量を平均10%低減しています。

更に、お客さまが長期間にわたり安心して機械をお使いいただけるよう、国内で初めてパワーラインの保証延長と無償メンテナンスを取り入れた、新たなサービスプログラム「KOMATSU CARE (コマツ・ケア)」を提供し、トータルライフサイクルコスト低減と長時間稼働に貢献します。

\*1 オフロード法：特定特殊自動車排出ガスのNOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)排出量の規制等に関する法律。

\*2 日本：特定特殊自動車排出ガス2011年基準、北米：EPA Tier4 Interim、欧州：EU Stage 3B



オフロード法2011年基準に適合した大型油圧ショベル [PC450-10]



第6次IABメンバーとコマツの経営陣  
(ミーティング後、こまつの社にて)

## 第6次「インターナショナル・アドバイザリー・ボード」新メンバーでのミーティングを開催

コマツは、グローバル企業としての経営・企業活動のあり方について、社外の有識者から客観的な助言・提言を取り入れることを目的として、1995年にインターナショナル・アドバイザリー・ボード(IAB)を設置し、昨年まで通算28回のミーティングを開催してきました。2012年4月、新たに第6次IABのメンバーが決定し、6月4日に新メンバーでのミーティングをコマツウェイ総合研修センタ(石川県小松市)で開催しました。引き続きIABの開催を通じて、経営効率の更なる改善およびコーポレート・ガバナンスの強化を行い、企業価値の向上に努めていきます。

第6次  
IABメンバー

Sea Jin Chang 氏  
Carlos Mazzorin 氏  
Günter Rommel 氏  
高橋 進 氏

シンガポール国立大学 ビジネススクール主任教授  
Amerigon Inc. 取締役  
SorTech AG 株主(兼) 監査役会副会長、Webasto AG 監査役会副会長  
株式会社日本総合研究所理事長

## コマツ女子柔道部 杉本美香選手がロンドン五輪で銀メダル獲得

2012年8月、ロンドン五輪柔道競技女子78kg超級にコマツ女子柔道部の杉本美香選手が日本代表として初出場しました。杉本選手は、度重なる怪我を乗り越えてたどりついたオリンピックの舞台上で、初戦となる2回戦から2試合連続で豪快な一本勝ちをおさめ、皆さまの応援のおかげで銀メダル獲得という結果を出すことができました。

温かいご声援ありがとうございました。

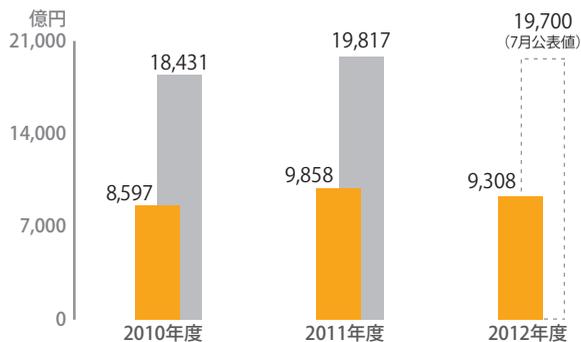


銀メダルを獲得した杉本美香選手

# 連結業績

■ 中  
■ 年  
間 間

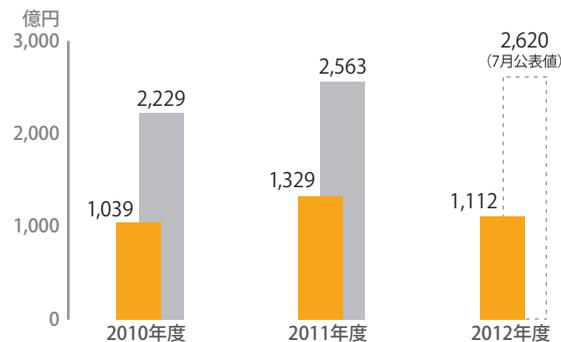
## 売上高



前期(2011年度)は、一般建設機械分野において、中国の需要減少を他の戦略市場および伝統市場の需要の増加でカバーするとともに、鉱山機械分野の需要も、資源価格の上昇を背景に好調に推移し、売上高は伸長しました。

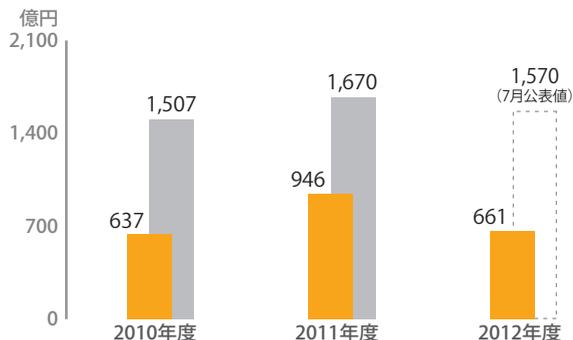
当中間期は、前期に引き続き、日本、北米の需要、石炭以外の鉱山向け需要が堅調に推移しましたが、中国の需要低迷に加え、石炭鉱山向けの需要減速、産業機械他部門におけるワイヤソーの需要減少等により、売上高は前年同期比5.6%減の9,308億円となりました。

## 営業利益



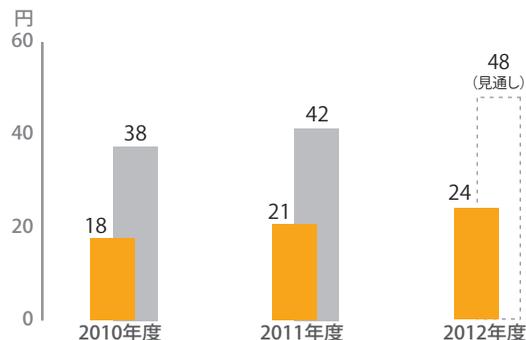
前期(2011年度)の営業利益は、為替がドル、ユーロ、人民元に対し円高となったものの、売上げ数量の増加に加え、販売価格および製造原価の改善等により、増益となりました。当中間期は、中国の一般建設機械および石炭鉱山向けの鉱山機械の売上げが減少する中、引き続き販売価格および製造原価の改善等に注力しましたが、売上げ数量の減少に加え、為替がユーロに対し円高となった影響等により、前年同期比16.3%減の1,112億円となりました。売上高営業利益率は前年同期を1.5ポイント下回る12.0%となりました。

## 純利益



注：2011年度中間期の純利益946億円および年間の純利益1,670億円には、一時的な要因として、連結子会社のコマツレンタル(株)の吸収合併に伴う税効果(評価性引当金の減少)127億円が含まれております。

## 配当金



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

コマツ 株主・投資家情報 |

検索

<http://www.komatsu.co.jp/CompanyInfo/ir/>



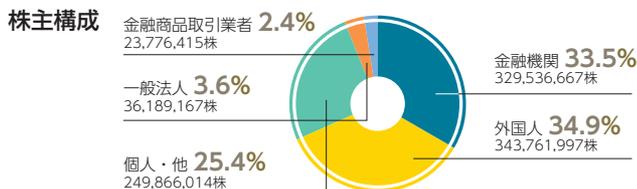
## 会社概要

商号	株式会社 小松製作所 (呼称:コマツ)
本社	〒107-8414 東京都港区赤坂二丁目3番6号
設立年月日	大正10(1921)年5月13日
資本金	連結 67,870 百万円 (米国会計基準による) 単独 70,120 百万円
従業員数	連結 45,970 名 (当社と連結子会社 140 社の人員) 単独 9,897 名 (出向者を除く)

## 株式の状況

発行済株式総数 983,130,260 株

株主数 265,275 名



注：比率は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

## 取締役および監査役

### 取締役

坂根 正弘	取締役会長
野路 國夫*	代表取締役社長(兼)CEO
駒村 義範*	代表取締役副社長
広中 守*	取締役(兼)専務執行役員
大橋 徹二*	取締役(兼)専務執行役員
藤塚 主夫*	取締役(兼)常務執行役員
高村 藤寿*	取締役(兼)常務執行役員
堀田 健介**	取締役
狩野 紀昭**	取締役
池田 弘一**	取締役

### 監査役

鳥居 恭二	常勤監査役
森本 誠	常勤監査役
興津 誠***	監査役
蒲野 宏之***	監査役
松尾 邦弘***	監査役

\*\*\*は社外監査役

## 株式関連情報

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 公告掲載 URL <a href="http://www.komatsu.co.jp/">http://www.komatsu.co.jp/</a> (事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(同連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)

## 株式に関する手続きについて

証券会社等に口座を開設されている株主さま ▼  
お取引口座のある証券会社等にお問い合わせください。  
\*郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、三菱UFJ信託銀行で承ります。  
特別口座に記録されている株主さま ▼  
三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。(連絡先上記)

\*は執行役員を兼務  
\*\*は社外取締役

## ● 株主さまを対象とした見学会のご案内 ●

株主の皆さまに当社へのご理解を一層深めていただけるよう、工場見学会およびコマツテクノセンタ（建設・鉱山機械の展示、デモンストレーションを行う施設）でのお子さまを対象とした見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

### 茨城工場見学会

対象者	・2012年9月30日現在、当社株式100株以上をご所有の株主さま。 ・より多くの株主さまにご見学いただくため、 <b>ご参加は株主さまご本人のみ</b> とさせていただきます。
開催日時	第1回 2013年3月6日(水) 13:30より約3時間 第2回 2013年3月7日(木) 13:30より約3時間
所在地	茨城県ひたちなか市
最寄駅	JR常磐線 勝田駅
生産品目	大型ダンプトラック、大型ホイールローダ
定員	各回50名

#### 〈はがき記入要領〉

50円 切手	107-8414 コマツ IRグループ 行 経営管理部	東京 都港区 赤坂2-3-6
<ol style="list-style-type: none"> <li>①ご希望の見学会 「茨城工場見学会」とご記入 ください</li> <li>②ご希望日 (3月6日、3月7日のうちい ずれかをご記入ください)</li> <li>③郵便番号</li> <li>④ご住所</li> <li>⑤株主さまのお名前(ふりがな)</li> <li>⑥電話番号</li> <li>⑦株主番号 (同封の「中間配当金計算書」 「中間配当金領収証」などに 記載しております)</li> </ol>		

- **参加費** 無料（現地までの往復交通費は株主さまのご負担とさせていただきます）
- **応募方法** 参加を希望される見学会をお選びいただき、はがきに必要事項をご記入の上、ご郵送ください。また、郵送料につきましては株主さまにてご負担くださいますようお願い申し上げます。

#### ■ 締切 2012年12月14日(金) 当日消印有効

ご応募が定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は、2013年2月上旬までに郵送にてお知らせいたします。

ご応募に際し当社が取得する個人情報、本見学会に関する業務以外には使用いたしません。

**見通しに関する注記事項** ▶ この中間報告書に記載されている将来の業績に関する予想、計画および見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、計画および見通しとは大きく異なることがあり得ますことをご承知ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況の変動、製品需要の変動、為替相場の変動および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更等が含まれます。

株式会社小松製作所（コマツ） 経営管理部 IRグループ : Tel: 03-5561-2687 Fax: 03-3582-8332

## コマツ

〒107-8414  
東京都港区赤坂 2-3-6  
<http://www.komatsu.co.jp/>

### お子様を対象としたコマツテクノセンタ見学会

対象者	・2012年9月30日現在、当社株式100株以上をご所有の株主さまと、そのご家族。 ・より多くの方にご参加いただくため、 <b>ご参加は、株主さまご本人を含め1組4名様まで</b> とさせていただきます。
開催日時	2013年3月26日(火) 13:00より約2時間30分
所在地	静岡県伊豆市
交通手段	JR伊東線 伊東駅または伊豆箱根鉄道 修善寺駅よりタクシーで約20分 伊豆スカイライン「冷川IC」より車で約10分 (テクノセンタ館内および周辺には飲食店はございません)
施設について	当社の建設・鉱山機械の展示ならびにデモンストレーションを行っている施設です。
定員	100名(同伴者含む)

#### 〈はがき記入要領〉

50円 切手	107-8414 コマツ IRグループ 行 経営管理部	東京 都港区 赤坂2-3-6
<ol style="list-style-type: none"> <li>①ご希望の見学会 「テクノセンタ見学会」とご記入 ください</li> <li>②郵便番号</li> <li>③ご住所</li> <li>④株主さまのお名前(ふりがな)</li> <li>⑤電話番号</li> <li>⑥株主番号 (同封の「中間配当金計算書」 「中間配当金領収証」などに 記載しております)</li> <li>⑦同伴されるご家族全員のお名 前、ご年齢、株主さまとの続柄 を3名までご記入ください</li> </ol>		



HJJH1211268